# 対馬ちんぐ音楽祭 2007

## 海峡に響いた日韓の歌声

音楽祭のフィナーレ　出演者全員がステージに上がり、音楽祭のオリジナル曲「ちんぐソング」を熱唱

音楽を通して日韓両国の交流を深める「対馬ちんぐ音楽祭」が8月25日、美津島町の対馬グリーンパーク芝生広場で開催されました。

音楽祭には、日本側からおなじみの小室等さんをはじめ今回は、「港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ」などのヒット曲で知られる宇崎竜童さんとテレビドラマ「鬼嫁日記」の主題歌で有名になった女性バンドの「中ノ森BAND」が初参加。加えて対馬出身者をメンバーに含む「Hi-CLASS」が昨年に引き続き出演し、アマチュアバンドの「CANDY BOX」も参加しました。

一方、韓国側からはイ・スンヨル、「My Aunt Mary」の2組の実力派が参加。また、6月に釜山市で開かれた日本歌謡大会（日本領事館・(社)釜山韓日文化交流協会主催）で奨励賞を受賞したムン・スジンさんもゲストとして出演し、日本の歌謡曲を熱唱しました。

### ■観客のあたたかい声援がアーティストたちを励ます

今年の夏を象徴するかのように暑い一日となったこの日、会場に詰めかけた約1500人の観客の熱気もあり、ステージではどのアーティストも汗だくになりながらライブをこなしていました。そんな出演者たちを、観客はときおり立ち上がって声援を送り、手拍子で励ましました。観客の反応にアーティストたちは口々に「対馬の人たちはあたたかい」「対馬サイコー」と笑顔で応えていました。

観客席の様子

### ■12回続いた音楽祭

プレイベントから連続出演している小室等さんはステージで「日本が一番仲良くしなければならないのは韓国。韓国の人たちをあたたかく迎えて12年も音楽祭を続けられたことは、音楽を通して仲良くなれることを対馬の人たちが証明しました。今後も、仲良くしていくにあたってこの音楽祭がすごい力になると思います」と語り、音楽祭を支えてきた日韓の観客たちや、スタッフを激励しました。

### 対馬出身者が活躍するバンド Hi-CLASS

**ボーカルの清竹さん（中央）とギターのマッチョさん（右）は上対馬町出身です。**
**今年は待望のファーストアルバム「ムスウホシテントウ」を全国発売。リーダーのマッチョさんは「対馬の人のあたたかさを曲に書いています。ぜひ聴いてください」と話していました。**

# 健常者と視覚障害者の音楽家が共演
## 君にとどけたい愛のコンサートin対馬

勝田友彰さん（前列中央）と、穴澤雄介さん（左）

9月17日、テノール歌手の勝田友彰さんと視覚障害者音楽家穴澤雄介さんによる「君にとどけたい愛のコンサートin対馬」が対馬市交流センターで開かれました。

このコンサートは、未来の子どもたちに音楽のすばらしさと障害者に対する理解を深めてもらおうと勝田さんが97年から全国各地で開催しています。

コンサートでは視覚障害を持ちながらプロの音楽家として活躍しているバイオリニストの穴澤さんが伴奏を務める中、勝田さんらテノール歌手により「故郷」「夏の思い出」などの日本の名歌と、「オー・シャンゼリゼ」「帰れソレントへ」などの世界の名曲が披露され、また、ゲスト出演した厳原ジュニア合唱団が息のあった合唱を発表しました。

高校の時から徐々に目が見えなくなったという穴澤さんは、盲学校で明るく活発な同年代の障害者たちと出会い勇気づけられたエピソードを話し、「目に障害を持ったことがいろんな意味で自分にはプラスになっているので、何が起こってもプラス思考で明るく楽しく元気に過ごしてもらいたいです」と客席の子どもたちにメッセージを送り、また演奏ではバイオリンの美しい音色をホールいっぱいに響かせて、観客から盛大な拍手を受けていました。

## 小茂田浜神社でイタリア料理と音楽を楽しむ
### 「イタリアンと真夏のライブ」

イタリア料理と音楽を楽しむイベント「イタリアンと真夏のライブ」が８月26日の夕方、小茂田浜神社（厳原町小茂田）で開かれました。島おこしを目的に住民たちでつくる「食楽イベント実行委員会」が主催したもので、会場では福岡からきたバンド「ONE SOUL LOVERS」らが演奏を行い、福岡からきた一流のシェフが鹿、イノシシ、新鮮な魚介類といった地元の食材を使ってイタリア料理をふるまいました。

会場に集まった約150名の観客は、料理に舌鼓をうちながら、バンドの演奏と静かな夕暮れのひとときを楽しんでいました。

## 松村晋一郎くん（久田中１年）が、長崎県新記録で優勝
### 【県中総体新人大会　１年男子100mハードル】
### ジュニアオリンピックに出場決定

８月25日、諫早市で開かれた長崎県中学校総合体育大会新人大会で、１年男子100mハードルに出場した久田中学校の松村晋一郎くんが、従来の大会記録を0.15秒更新する16秒03の新記録で優勝しました。

小学５年生の頃に本格的に陸上を始めたという松村くんは、６年生の時には80mハードルで県大会優勝を果たすなど素質に恵まれているうえ、天候の悪い日以外は毎日、放課後に１時間半ほど練習する努力家です。

大会を振り返り「優勝が目標だったのでとてもうれしいです。新記録には驚いています」と話していました。また、10月に横浜市で開かれるジュニアオリンピックに対馬からは唯ひとり出場予定で、「目標は準決勝進出。対馬の名に恥じないようにがんばりたい」と抱負を語りました。